

鶴ヶ島市地域公共交通活性化協議会

平成20年3月24日設置
平成22年3月25日連携計画策定変更



概要

平成21年度から実施している市内公共交通実証運行事業について、その有効性や課題、方向性等について調査・分析、検証を行い、利便性や効率性の高い、持続可能な公共交通事業の在り方について調査研究を行うとともに、デマンド運行システムを含めた新たな運行形態の導入及び現行路線の再編等について検討・実施を行う。

○基幹バス・乗合タクシーの実証運行と各種調査

バス停別、路線別等の利用状況を把握するための乗降客数調査を行う。同時に利用者及び、潜在的な利用者となる基幹バス・乗合タクシーの利用者、ルート上の主要施設利用者にアンケート調査、PR活動を行う。

○実証運行見直し検討

各種調査を元に、現行路線の再編やデマンド運行等を含めた新たな運行形態の検討及び提案、実証運行の実施に係る運行事業者及び関係機関との調整、次年度以降の事業計画の検討を行う。
見直し検討に基づいた待合施設整備、ポスター、パンフレット、時刻表等の作成を行う。

○デマンド運行方式の運営等

実証運行見直し検討の結果、デマンド運行方式を導入した場合のシステム構築及び必要な機材等の準備を含めた予約センターの運営



目標1：利用者300人／日 → 1千人／日
目標2：市の負担額を4千万円／年以下

見直し検討

持続可能な採算性を重視しつつ、利用者増を図る

路線見直し(合理化)
デマンド方式の導入
ワゴンタクシー化 等